



ポートメッセなごやで開催された「ウェルフェア2018」

## ご挨拶

公益社団法人 愛知県理学療法士会 代表理事 鳥山 喜之

## 公益事業 活動紹介

- 第21回国際福祉健康産業展 ウェルフェア2018
- 愛知県介護予防推進キャンペーン2018.7.15
- こどもの福祉機器展 チャレンジドフェア2018 ご報告/2019 ご案内

## 職能局 活動紹介

- 業務推進部
- 倫理保険業務部
- 予防事業推進部

## 理学療法って知っていますか? 理学療法って何だろう?

## 第28回 愛知県理学療法学会

テーマ:歩行再考



ピー太君とピー子ちゃん  
※公益社団法人 愛知県理学療法士会  
マスコット

# ご挨拶



公益社団法人  
愛知県理学療法士会  
代表理事 鳥山 喜之

わが国は少子高齢化という深刻な問題で、2010年の日本の総人口1億2,806万人で2048年には1億人を割って9,913万人となり、2060年には8,674万人になるといわれています。また、65歳以上の高齢者の割合は、2010年現在の4人に1人から、2035年に3人に1人を上回り、50年後の2060年には2.5人に1人と超高齢化社会を迎えようとしています。

また、「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」によると、「介護や福祉サービス」と「高齢者向けの住宅」を重視する人が増加。身体機能が低下して介助が必要となった場合でも、自宅に留まりたい人が7割弱もいます。その一方、大都市部での独居老人が増加、孤独死などの社会問題なども発生しています。

社会保障構造の改革により、保健・医療・福祉の分野で働く我々理学療法士も大きな影響があり、平成16年1月に高齢者リハビリテーション研究会より、わが国の高齢者リハビリテーションの現状と課題、これからの見直しの方向性についてとりまとめた「高齢者のリハビリテーションのあるべき方向」が報告され、欧米にはない、急性期・回復期・維持期リハビリという日本独自のリハビリテーションサービスの流れが提唱されました。

我々理学療法士は、急性期病院や回復期リハビリテーション病院を初め、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、介護保険事業所から、地域医療・介護を提供する事により、「人間の生き方や社会と深く関わ

る」仕事をしています。また、高齢者や障害者(児)の社会参加や地域の人々がもっと元気で長生きできる社会を作るよう、「ウェルフェア事業の参加、風船バレーボール大会、スポーツ障害予防講座の開催、小児領域地域リハビリテーション連続講座、並びに、こどもの福祉機器展(チャレンジドフェア)」等の社会活動を行っております。

「患う」は心にくしが刺さっていることを表しています。我々理学療法士は、理学療法を用いてその患者さんの機能の回復、ADLの向上のみではありません。障害などを持った患者さんが望む、「誰と、何処で、どの様な」生活をできる限り達成してあげるかが我々の役割で、他の職種と連携し共通する目標を持ち関わっていくことがリハビリテーションです。

組織全体の職員教育として、OJT(仕事上指導)、OFF-JT(集合研修)、SDS(自己啓発)があり、一般的に「教育の3本柱」と言われ、職員の知識、技術、態度など資質向上だけでなく、地域から信頼される組織を目指す上で重要な取り組みであります。愛知県理学療法士会も愛知県理学療法学会と共催し、学術大会、研修会、講習会及び研究会を開催し、理学療法士の質の維持・向上に取り組んでいます。

今後とも、理学療法が科学的根拠に基づく技術として確立し、市民の健康、病気・障害の回復、介護予防に寄与し、社会に求められるような専門職としての立場を確立していく所存であります。

# 公益事業 活動紹介

## 第21回 国際福祉健康産業展 ウェルフェア2018

国際福祉健康産業展「ウェルフェア」は、高齢者や障害者の生活を支援する製品やサービスを幅広く紹介する、福祉・健康産業展としては中部地区最大級の催しで、毎年ポートメッセ名古屋(名古屋市国際展示場)にて開催されています。今回も名古屋市(名古屋国際見本市委員会)からの出展依頼を受け、5月17日(木)～5月19日(土)の3日間出展させていただきました。

今回のウェルフェア2018には、3日間で70,629人の方が来場されました。愛知県理学療法士会の出展ブースにおいては、子供から高齢者まで幅広い年齢層の方々に3日間で580人の方に来場いただきました。

出展ブースでは、「体力測定と運動・生活指導」、および「療育・健康・介護予防等の個別相談会」を実施しました。「体力測定と運動・生活指導」では、柔軟性、筋力、バランス能力を測定し、その結果を基に、理学療法士が現在の身体機能、今後の運動・生活についての指導を行いました。参加された方々は真剣に体力測定

に取り組み、指導にも熱心に耳を傾けておられました。なかには、時間が足りないほどいくつもの疑問を投げかけて下さる方もみえました。「療育・健康・介護予防等の個別相談会」では、ご本人はもとよりご家族の保健・医療・福祉のことや、私たち理学療法士の職業に対することなど、ご質問いただきました。

毎年ウェルフェアに出展するたびに、来場される方々の健康・身体能力に対する関心の高さを感じますが、年々ウェルフェアそのものの来場者、当県士会ブースへの来場者数は減少してきています。これからも県民の方々へ理学療法士の技能と知識を活かした公益・社会貢献事業等の活動を行っていくために、皆様からのご意見ご協力をいただければと思います。

今回の企画に多くの方々のご協力、ご参加をいただきましてありがとうございました。心より御礼申し上げます。

## 愛知県介護予防推進キャンペーン 2018.7.15

今年も介護予防健康増進キャンペーンを理学療法週間に合わせ、上記日程でアピタ長久手店にて開催しました。

これまでの4回は、InBodyを用いた体成分分析を行いました。今年度は、今年度はハンドヘルドダイナモメーターを用いた膝伸展筋力と握力を測定しました。その結果をもとに運動・生活の指導や、健康相談を行いました。参加者の方々には、自分自身や家族の筋力結果を見比べたり、年齢平均との比較をしたり、興味深そうに結果

についての話を聞かれていました。当日は、144名の方々に参加して頂き、一般の方々の健康や介護予防に対する意識の高さを感じることができました。一方で、自身の健康状態にあまり興味のない方もまた、多くいらっしゃる感じる場面もあり、どの様にして自身の健康や介護予防について興味を持ってもらうのか、今後の啓蒙活動についても再考していく必要性を感じました。

今後も地域での活動を通じ、理学療法士を広く知って頂きながら、介護予防の輪を広げて行きたいです。

# こどもの福祉機器展

## チャレンジドフェア2018

愛知県理学療法士会小児福祉部では、障がいのある子どもとご家族が、地域で普通に暮らしていけるための支援を目的に、こどもに特化した事業を行っています。主には、専門家による講演会、勉強会や、福祉機器の展示会にて、障がいのあるお子さんの支援に必要な情報を提供しています。

こどもの福祉機器展～チャレンジドフェア～は、昨年2月24日、25日に実施、2日間で1000名を超える来場者にお越しいただきました。今回は2019年2月23日(土)24日(日)にあいち健康プラザにて開催する予定です。愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会と協同で企画、運営し、車椅子、姿勢保持具、歩行器の他、食器、エプロン、衣服、寝具等の生活用具、介護用食品、介護用リフト、コミュニケーション機器など、多くの展示品を出展する予定です。

展示会期間中には、セミナーも開催予定しています。今回は「子どもたちの可能性を育むためのテクノロジー活用」というテーマで、日本福祉大学の

渡辺先生にお話しいただく予定です。

機器展の魅力は、いろいろなメーカーさんと直接話ができること、福祉用具が試乗・体験でき、購入の際の参考にできること、と多くの来場者から感想をいただいています。PT、OT、STのスタッフも会場内に散らばり機器選びのお手伝いをいたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



# こどもの福祉機器展

## チャレンジドフェア2019

**日時** 2019年2月23日(土)～24日(日)  
10:00～16:00

**場所** あいち健康プラザ プラザホール  
愛知県知多郡東浦町森岡字源吾1-1 TEL.0562-82-0211

**交通機関** JR大府駅西口から知多バス12分「あいち健康プラザ」下車  
知多半島道路「大府東海IC」から10分

**お問い合わせ先** チャレンジドフェア事務局 鵜飼 宏和  
〔(株)ジェネラス 生活介護ことあ内〕  
TEL.052-401-7280 FAX.052-401-7282  
E-mail aptashouni@gmail.com

こどもの福祉機器展  
チャレンジドフェア 2019

入場無料 みだり  
来場は  
大丈夫!

2019 2/23(土)～2/24(日) 10:00～16:00  
会場 あいち健康プラザ プラザホール  
(愛知県知多郡東浦町森岡字源吾1-1)

特別企画  
「子どもたちの可能性を育むためのテクノロジー活用」  
日本福祉大学健康科学部福祉工学科教授 渡辺崇史氏

2/23(土)13:00～  
事前申し込み不要  
定員50名

展示機器  
車いす、姿勢保持装置、  
パギン、歩行器、ベッド、  
クッション、寝具、  
コミュニケーション機器

出展企業担当者や  
専門スタッフが  
一緒に学ぶなど、  
お子様のより豊かな  
生活のために  
支援します

お問い合わせ：チャレンジドフェア事務局 鵜飼宏和(株)ジェネラス 生活介護ことあ内  
TEL. 052-401-7280 FAX. 052-401-7282 aptashouni@gmail.com  
公益社団法人愛知県理学療法士会 一般社団法人愛知県作業療法士会 愛知県言語聴覚士会

# 職能局 活動紹介

職能局は平成28年度までは「業務推進部」および「保険部」の2部で活動してまいりました。平成29年度より「業務推進部」、「倫理保険業務部（保険部より改称）」あらたに「予防事業推進部」が加わり3部での活動がはじまりました。

職能局では、今後も皆様が欲する研修が実施できるよう3部が協力して運営してまいります。



## 職能局

### 業務推進部

理学療法士の業務・身分・職域などに関する事柄を扱う部で、業務管理者の育成を目的とした研修会などの開催しており、会員外の方々にも枠を広げております。

### 倫理保険業務部

診療報酬、介護報酬だけでなく、法等法令・省令や倫理に関わる説明会や研修を行っております。また、喀痰吸引研修会も開催しております。

### 予防事業推進部

これまで業務推進部が運営していました地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダー導入研修を移行しました。また、愛知県の委託事業における研修を開催しております。



倫理保険業務部「喀痰吸引研修会の説明」

## 業務推進部

### 〈職域別管理者ネットワーク構築事業〉

職能局業務推進部では、管理者（役職者等）の育成とネットワーク造りを目的に【職域別管理者ネットワーク構築事業】に取り組んでいます。

【職域別管理者ネットワーク】とは、愛知県内で共通の職域に属している医療施設や介護サービス事業所等の管理者でつくる連携体制のことです。

「管理者（役職者等）」には中堅の役職者やその経験者・若手のリーダー以上（次世代の管理者候補）の方々も対象にしています。

今年度は、“顔の見える関係作り”から始めるべく、それぞれの職域ごとの研修会を開催いたしました。

各研修会では多くの会員が参加して、情報共有・情報交換から同じ職域で抱える共通の問題や課題を解決・達成するための方法やヒントを皆で検討しあい、大変充実した内容となりました。

今後もこの活動を通して医療・保健・介護・福祉・予防の各分野で県民の皆様に貢献できる組織作りを目指していきます。



## 倫理保険業務部

### 保険部事業一覧(2018年度)

- 第1回 喀痰吸引研修会:2018年9月22日  
講師:愛知医科大学病院 看護師長 小林美和 参加数:21名
- 第2回 喀痰吸引研修会:2018年10月21日  
講師:公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科医師 横山俊樹 参加数:20名
- 第3回 喀痰吸引研修会:2019年2月11日 予定  
講師:愛知医科大学病院 看護師長 小林美和
- チーム医療推進研修会:2019年2月3日 予定  
テーマ:多職種による連携の実践報告及びセラピストへの提言  
講師:薬剤師、管理栄養士、介護支援専門員、理学療法士
- 医療保険・介護保険Q&A:2019年3月17日 予定

### 〈喀痰吸引研修会の説明〉

チーム医療推進事業の一環として、毎年2回～3回の喀痰吸引研修会を開催しています。目的は、リハビリテーション専門職種が、体位排痰法等の呼吸療法、食事訓練及び嚥下訓練等を在宅等で行う際に必要となる喀痰吸引の技術及び人工呼吸器の基礎知識を習得することです。講義と実技のある大変充実した研修です。実技では、講師及び実技インストラクターの丁寧な指導のもと、基本的な手技を繰り返し練習できます。

地域包括ケアシステムが推進され、在宅支援が益々重要になる中で、理学療法士等に必要となる知識・技術の研修会を今後も企画・運営していきます。



## 予防事業推進部

予防事業推進部では、愛知県の委託事業であります介護予防指導者育成事業と介護予防・地域包括ケア推進リーダー導入研修を開催しています。

### 〈介護予防指導者育成事業〉

理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士の3士会で協力し、リハビリテーション専門職が地域で活動できるための知識を習得するための研修会(平成30年度:全体研修会1回、地区研修会5回)を開催しています。今年度の全体会では、愛知県における地域リハビリテーション支援体制の整備に向け、埼玉県県庁ならびに埼玉県理学療法士会の先生方をお呼びし、先進的な取り組みをご紹介いただきました。また地区研修会では、自立支援型地域ケア会議に助言者として出席するうえで必要な知識を習得するために、モデル地区の行政担当者やアドバイザーの講演、模擬会議等を実施する予定です。

# 理学療法って知っていますか？

理学療法士とは、検査、測定評価に基づき、何らかの疾病・傷害(スポーツを含む)などに起因する機能・形態障がいに対する運動療法による筋力、関節可動域、協調性といった身体機能、および温熱、水、光線、電気などの物理療法による疼痛、循環などの改善を図る治療科学です。また能力障がいが残ったとき、基

本的動作や日常生活活動を改善するための指導、そして社会生活を送る上で不利な要素を少なくするための福祉用具の選定や住宅改修・環境調整、在宅ケアなどが含まれます。近年では、生活習慣病の予防、コントロール、障がい予防も理学療法の対象になっています。

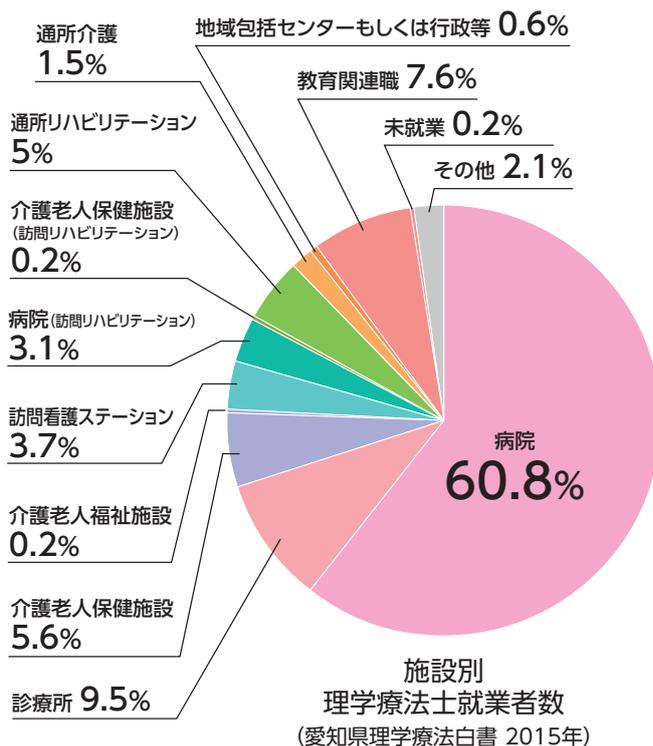
## どうしたら理学療法士になれるの？



## 理学療法士はどのような所で働くの？

理学療法士の就職先は、大学病院・一般病院・老人病院・小児病院などの医療施設、老人保健施設や訪問PTなどの医療福祉中間施設、肢体不自由児施設や身体障がい者福祉センターなどの福祉施設、養護学校や養成校などの教育・研究施設、行政関係、スポーツ・フィットネスなどの保健関係などです。多種多様なニーズに応じて職域も拡大しています。

介護保険サービス	通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション 住宅改修・福祉用具のアドバイス
医療サービス	病院・診療所
保健サービス	機能訓練事業、保健センター 介護予防、療育相談
行政サービス	市町村、養護学校など
福祉サービス	障害者福祉センター 障害児(者)通所・入園施設
トータルヘルスプラン事業	健康管理、スポーツ



# 理学療法ってなんだろう？

理学療法とは、身体障がいに対し運動療法や温熱、水、電気治療などの物理療法を用いて機能の向上・改善を図る治療科学です。さらに、日常生活動作を改善するための指導や、快適な社会生活のための福祉用具、住宅環境、在宅ケアの調整なども含まれます。近年は、生活習慣予防、介護予防などの予防活動にも、積極的に取り組んでいます。

## 健康増進

メタボリックシンドローム、腰痛など、現代社会が抱える身体の問題に対して生活様式から運動方法まで、詳しく説明、指導することができます。



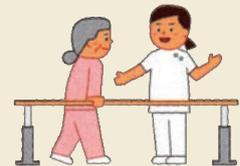
## 介護予防

高齢者の、身体と心をイキイキと保ち快適な生活がおくれるよう、老年症候群の予防を通して支援することができます。



## 機能回復

病気やケガによる障がいの評価と理学療法プログラムで、起きる、座る、立つ、歩く、といった動作や機能回復のお手伝いができます。



## 心身機能の向上

デイサービスやデイケアなどの通所サービスで集団・個別に心身機能の維持・向上のための運動を計画・実行できます。



## 社会復帰

スポーツや事故、難病などで、障がいを持つ全ての人々が、復学や復職など社会復帰のために、身体と心の両面から回復をお手伝いします。



## 地域リハビリテーション

様々な専門職と連携し、地域の社会資源を上手く活用し、皆さんの暮らしを創造するお手伝いをします。



## 自立支援

介護老人保健施設、介護老人福祉施設、身体障害者療護施設などにおいて、いつまでも、その人らしい生活のための支援をします。



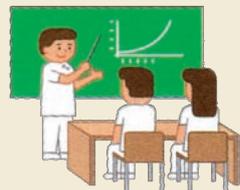
## 生活支援

安心・安全の暮らしを維持するために必要な日常生活動作から住環境調整まで、生活そのものを幅広くサポートできます。



## 研究活動

保健・医療・福祉などの分野で基礎から実践までの研究活動を推進し、「理学療法学」のより良い教育体制の構築を目指しています。



# 第28回 特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会

# THE AICHI SOCIETY FOR PHYSICAL THERAPY

# 愛知県理学療法学会 大会

会期 **2019.3.17** 日

大会長 **金井 章**

豊橋創造大学 保健医療学部理学療法学科

会場 **愛知県産業労働センター ウィンクあいち**

〒450-0002 名古屋市千川区名駅4-4-38

## 歩 行 再 考

お知らせ

本大会では事前参加登録を行います。  
詳細は、大会ホームページをご確認ください。  
また抄録集は大会ホームページより  
ご覧いただける予定です。

## PROGRAM

大会基調講演 (20分)	歩行再考 一歩容の変化を運動力学的に捉える— 金井 章 先生 (豊橋創造大学)
特別講演 (90分)	変形性股関節症患者の歩行再考 —理学療法士が歩行をどう変えていくか— 建内 宏重 先生 (京都大学)
教育セミナー1 (60分)	循環からみた歩行再考 —理学療法評価における歩行・身体活動量の意義と考え方— 柴田 賢一 先生 (名古屋ハートセンター)
教育セミナー2 (60分)	麻痺性疾患患者の装具療法による歩行再建 平野 明日香 先生 (藤田医科大学病院)
シンポジウム (90分)	病期別 歩行へのアプローチ —患者が生活者に戻るまでに理学療法士ができること— 庄田 好季 先生 (名古屋市立東部医療センター) 佐久間 泰彦 先生 (五楽川リハビリテーション病院) 辻 美幸 先生 (老人保健施設辰城苑) 武居 真 先生 (豊橋整形外科江崎病院)

大会事務局: 豊橋創造大学 保健医療学部理学療法学科  
〒440-8511 豊橋市牛川町松下20-1

主催: 特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会  
共催: 公益社団法人 愛知県理学療法士会



運営事務局: 株式会社 オフィス・テイクワン

〒451-0075 名古屋市西区康生通2-26 TEL: 052-508-8510 / FAX: 052-508-8540

E-mail: [apta28@cs-oto.com](mailto:apta28@cs-oto.com) URL: <http://www.cs-oto.com/apta28/>

後援: 愛知県、名古屋市、公益社団法人愛知県医師会、一般社団法人名古屋市医師会、公益社団法人愛知県看護協会、一般社団法人愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会、一般社団法人愛知県医療法人協会、一般社団法人愛知県病院協会、中日新聞社

公益社団法人 愛知県理学療法士会

事務局 〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉 1-12-35 1091 ビル9F

ホームページ <http://www.aichi-pt.jp> メールアドレス [office@aichi-pt.jp](mailto:office@aichi-pt.jp)

